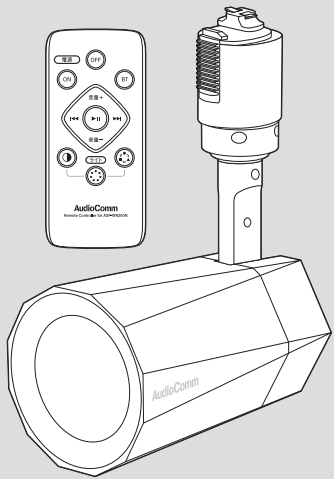


取扱説明書

レールスピーカー 型番：ASP-WR200N 品番：03-2950

このたびは、AudioComm®レールスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。



安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。

警告

以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常を感知したら、すぐにライティングダクト及び本機の電源を切る**
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 万一、内部に異物や水などがに入った場合は、使用を中止する**
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位を本機から22cm以上離す**
 - ・電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 分解、修理、改造しない**
 - ・火災・感電の原因になります。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機に触れない**
 - ・落雷や感電の原因になります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない**
 - ・感電や故障の原因になります。
- 医療機器の近くで使わない**
 - ・電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- 表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない**
 - ・火災・感電の原因になります。
- 狭い場所や壁に押し付けられるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、カーテンやクロスなどが本機に触れない場所に設置する**
 - ・熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。
- 破損していたり、しっかりと固定されていないライティングダクトに設置しない**
 - ・熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。
 - ・落下によるけがや周囲を汚損する原因になります。
- リモコンから取り外したコイン形電池は、小さなお子様に触らせない**
 - ・幼児の手の届かないところに保管してください。

注意

以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

- ぬれた手で操作しない**
 - ・感電の原因になることがあります。
- コイン形電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる**
 - ・電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損するおそれがあります。
- LEDライトを直視しない**
 - ・視力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 大音量で聴き続けられない。また、電源を切る前に音量を抑える**
 - ・大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
 - ・大音量のまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない**
 - ・電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- ほこりの多い場所では使わない**
 - ・火災・感電の原因になることがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所では使わない**
 - ・破損・故障の原因になります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない**
 - ・キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因になることがあります。
- ライティングダクト着脱時は、無理に押し込んだり、引っ張ったりしない**
 - ・破損や故障の原因になります。必ず本書で示す手順を守ってください。
- 定期的に掃除する**
 - ・ライティングダクトとの接続部にほこりがたまると、自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- お手入れの際や移動させるとき、長期間本機を使わないときは、必ずライティングダクト及び本機の電源を切る**
 - ・火災・感電の原因になることがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない**
 - ・変形・変色の原因になります。
- 日本国以外では使用しない**
 - ・本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
 - ・海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

リモコン用コイン形電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

- 絶対に電池を飲み込まないでください。化学反応による障害の危険があります。
- ・この製品に付属するリモコンは、リチウムコイン形電池を使っています。リチウムコイン形電池を飲み込むと、2時間定らずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至る場合があります。
- ・新しい電池及び使用済みの電池は子供が手の届かないところに保管してください。
- ・電池収納部がしっかり閉まらない場合は製品の使用を中止し、子供の手が届かないところに保管してください。
- ・電池を飲み込んでしまった、また電池を飲み込んだ疑いがある場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・ショートさせない
- ・むき出しのまま、他の電池を混ぜて保管しない(保管するときや廃棄するときはビニールテープなどを貼って絶縁する)
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の電池を入れない
- ・使い切った電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。**
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。**
- 使用済みの電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。**

免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内：Class2の場合)で通信を行う無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。
※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。
※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

【通信可能範囲】 本機(親機)と音源となるデジタル機器との通信範囲は最大約10mです。また、増設スピーカー(子機)をお使い場合、親機との通信範囲は最大約25mです。いずれの場合も人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化しますので、できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

【セキュリティ】 本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

【機器認定について】 本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。

スピーカー  R 204-B00932 リモコン  R 204-B00933

【使用周波数と注意事項】 本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

- ・ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- ・そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

主な仕様

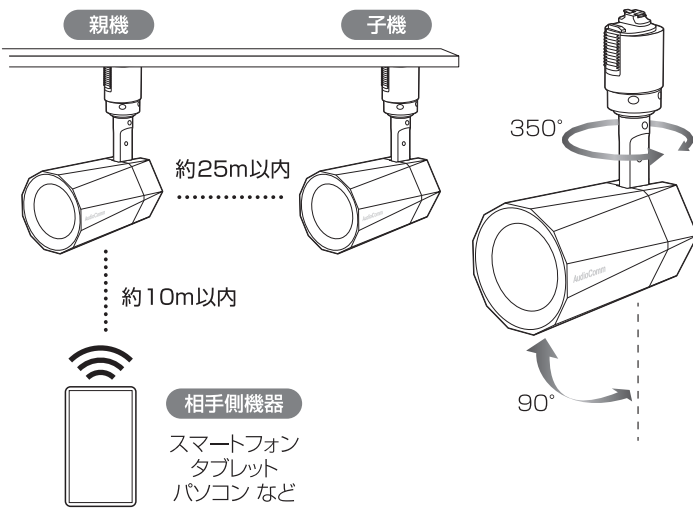
電源	AC100V 50/60Hz リモコン：DC3V コイン形電池CR2025×1個
消費電力	12W(スピーカー)
スピーカー	口径50mm(4Ω) ×1
再生周波数帯域	50Hz～20kHz
実用最大出力	12W
感度	80dB
SN比	≥75dB
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.3
対応プロファイル	HFP、A2DP、AVRCP
変調方式/周波数帯域	FHSS / 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
親・子機間伝送方式	CSB(NAVフォーマット)
親・子機間通信距離	見通し 最大約25m
調光機能	単色発光：7色切換
調色機能	3パターン：グラデーション、リズム連動、サークル
外形寸法	スピーカー本体：幅82×高さ82×奥行234.8mm(アーム・突起物を除く) リモコン：幅45.5×高さ100×厚さ9mm スピーカー本体：約354g リモコン：約26.2g
質量	
付属品	専用リモコン(動作確認用電池装着済み)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、親・子機間通信距離は目安であり、使用状況によって異なります。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。
※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
※本書で使用している図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

子機増設と本機の可動範囲

本製品を複数台リンクさせて、1つのリモコンで操作することができます(別途ご購入が必要です)。その場合、子機は親機から約25m以内であれば、何台でも、増設できます。

※本機の出力音声はモノラルです。複数台設置の場合でもステレオにはなりません。



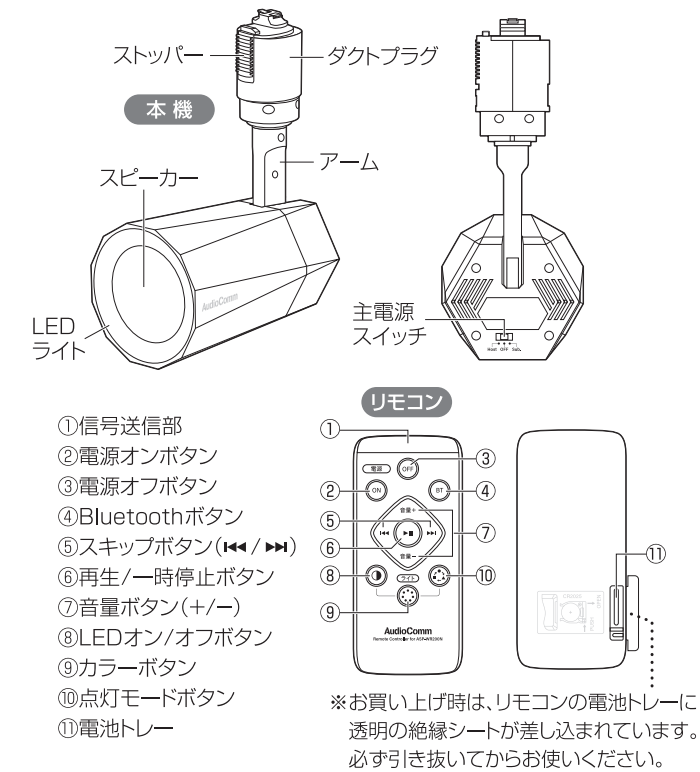
お手入れのしかた

- 必ず事前に本機及びライティングダクトの電源を切ってください。
- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯が薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
 - シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

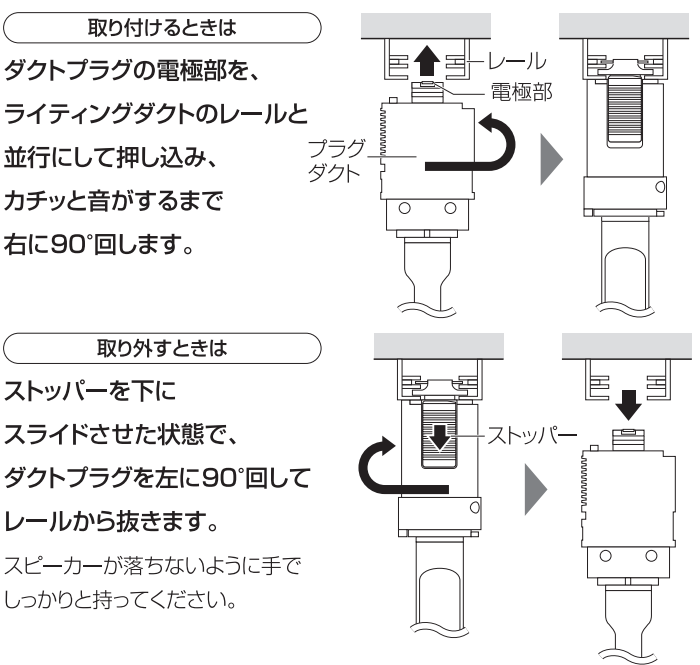


シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

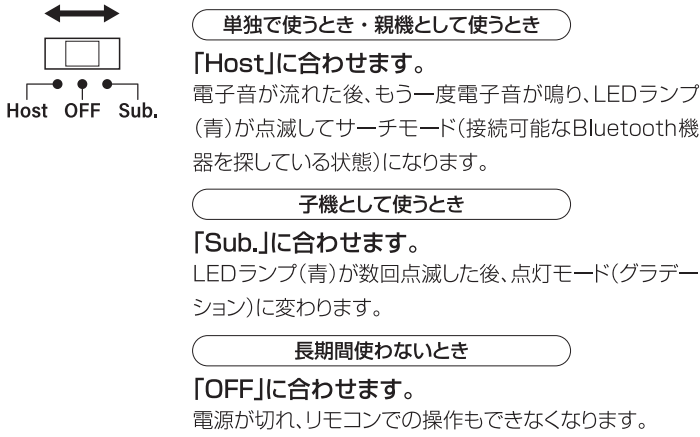
各部の名称



ライティングダクトへの着脱



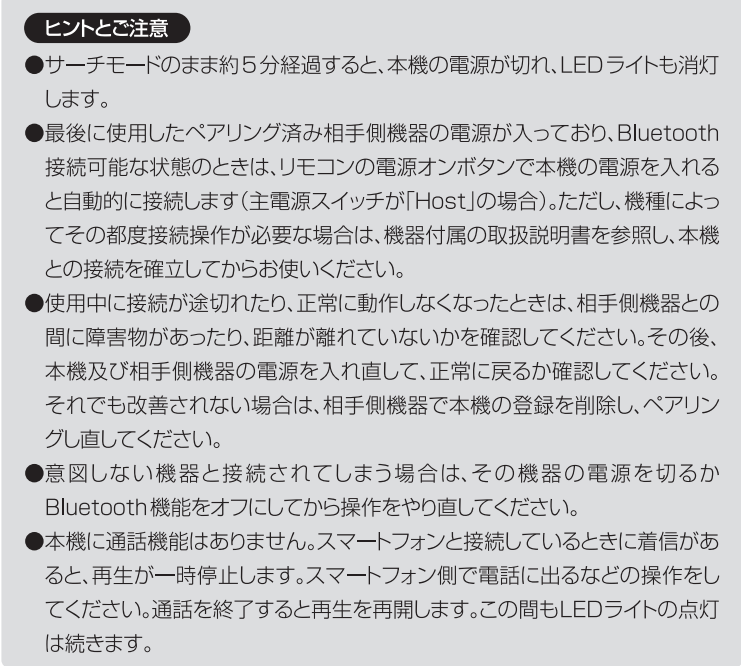
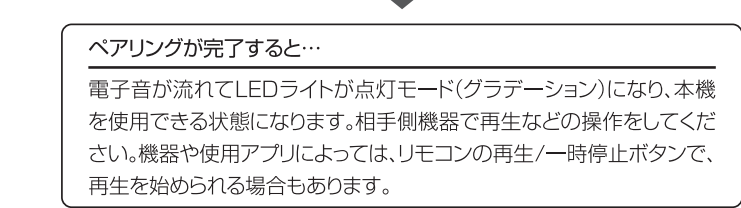
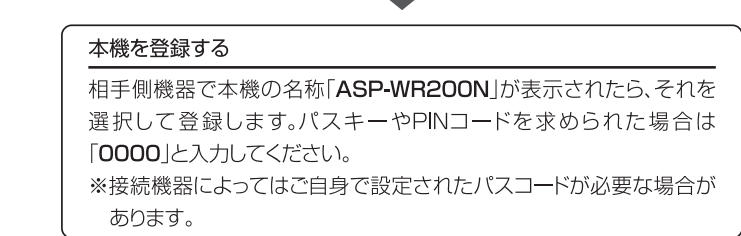
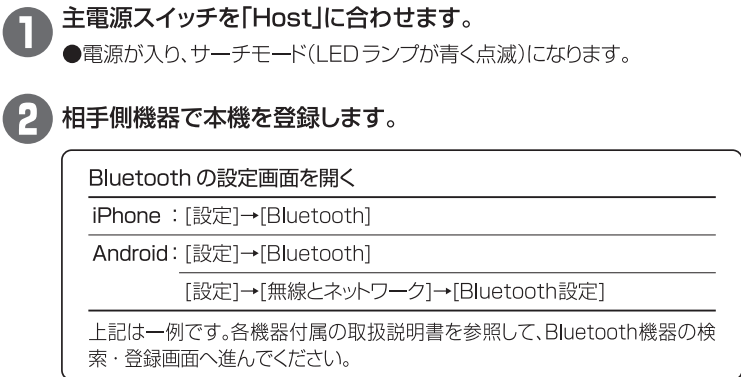
主電源スイッチについて



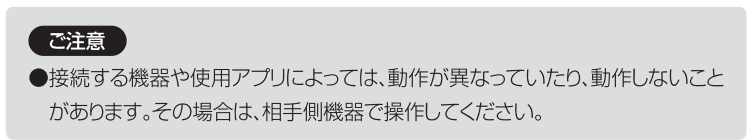
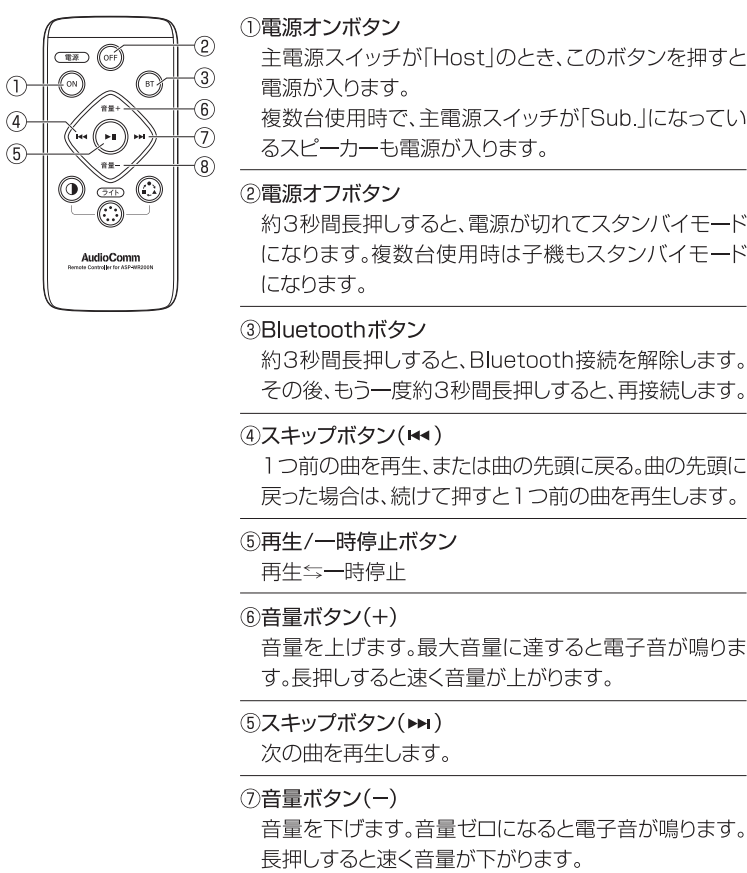
ペアリングのしかた

初めてのBluetooth機器（相手側機器：スマートフォンなど）と接続するときは、必ずペアリング（本機と相手側機器を相互に初期登録する操作）してください。

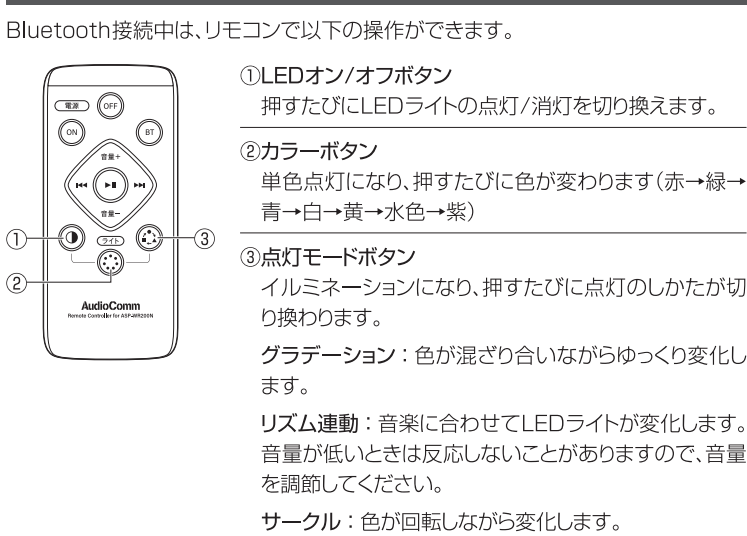
- ペアリングする前に相手側機器の電源を入れ、本機と約1m以内（障害物なし）に近づけてください。
- 本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3（プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP）に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。



音楽再生に関する操作方法



LEDライトの操作方法

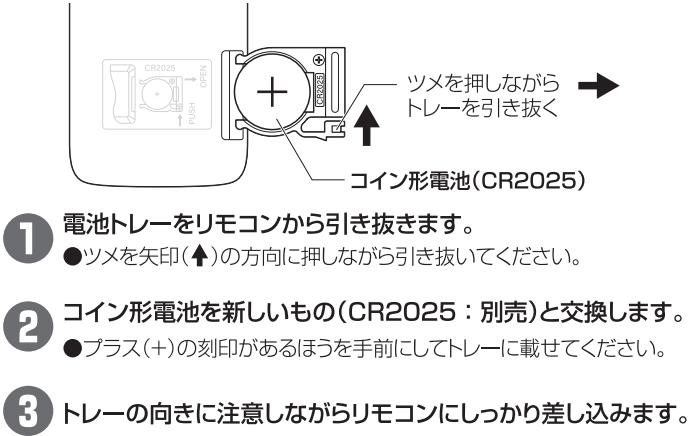


複数台で使うときのご注意

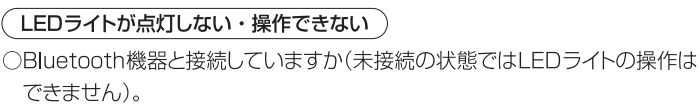
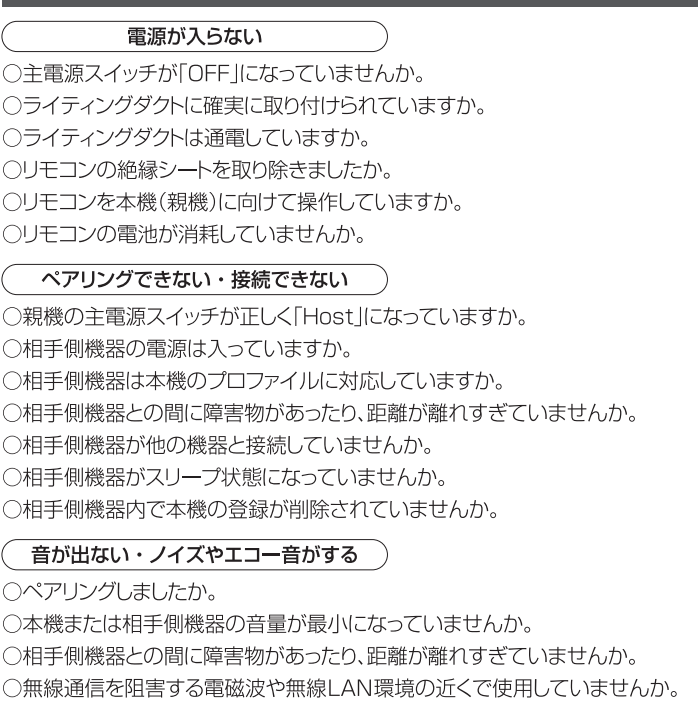
- リモコンは親機（「Host」設定機）に向けて操作してください。
- 時間を置いて親機（Host）と子機（Sub）の電源を入れると、子機からのスピーカー出力に時間がかかったり、LEDライトの点灯のしかたが同期しないことがあります。しばらくすると解消されます（しばらく経っても親機と子機が同期しない場合は、すべての電源をいったんOFFにして再度設定をし直してください）。

リモコンの電池交換のしかた

本機に近づかないと操作できなくなったり、反応がにぶくなったときは、リモコンの電池の消耗が考えられます。早めに新しい電池と交換してください。



故障かなと思ったら



保証書とアフターサービスについて

